

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 1501008

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A	
単位施策	3 消防・救急体制の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	消防救急無線デジタル化事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	15 消防支署	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	整備数		#N/A	
事業目標	1回	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 電波法	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	消防救急無線デジタル化整備					基本設計調査業務委託	
	事業費(千円)	3,000	0	0	0	3,000	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,000				3,000	
実績 事業費	事業費(千円)	1,008	0	0	0	1,008	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	1,008				1,008	
関連 事項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】					基本設計調査業務委託	
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値					1回
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	34%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	34%	
	事業進捗状況	—	—	—	—	☆☆☆☆	

事業名	消防救急無線デジタル化事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	高見 雄二
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	佐藤 和幸

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	国の電波法関係基準の改正により、消防救急無線が現行のアナログ方式からデジタル方式に移行しなければならない必要性があること。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	国が進める消防救急無線のデジタル化整備を行う事により、消防業務の円滑化を図る。	① 基本設計調査業務委託	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	従来のアナログ方式からデジタル化する事により、無線通話の秘匿性が向上し、また音声通信からデータ伝送が行われる事など、消防活動に対し質の向上及び強化が図られる。		目標値 1回
			実績値 1回
			達成度 100.0%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	基本設計調査業務委託	基本設計に向けて、組合内で担当者会議をかさね、整備費用の低減化に努めた。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	国の電波法関係基準の改正に伴い、アナログ方式の消防救急無線を平成28年5月31日までにデジタル方式に移行しなければならないため、更新整備を行う。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		無線通話の秘匿性が向上し、また音声通信からデータ伝送が行われる事により、消防活動に対し質の向上及び強化が図られる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		消防組合全体での整備となり、按分して負担金を決定していることから適正と考える。又、各支署より担当者を選出し、組合内で低減化に向けての会議を行っている。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		大規模災害時等の適正な消防通信を確保するため、デジタル化するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

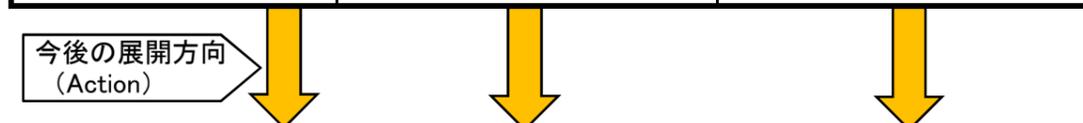
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		



今後の展開方向 (Action)	継続/現状維持		
	消防救急無線は平成28年5月31日までにデジタルへの移行を完了させなければならない事業であること。		

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止